



# 立野

練馬区立立野小学校  
令和4年 12月号

<http://www.tateno-e.nerima-tky.ed.jp>

## 気持ちを新たに

副校長 木村 順子

令和4年11月12日、開校60周年記念式典を無事に挙行することができました。これまでに、式典の実施に向けてご尽力いただきました実行委員会の皆様、PTA の皆様、保護者の皆様、地域の皆様に心より御礼申し上げます。

式典当日は、穏やかな小春日和となりました。朝の児童集会では、記念セレモニーが行われました。「みんな大好き 立野小 60周年 おめでとう」というメッセージが出来上がるように、一文字一文字のパネルを各クラスで作成しました。セレモニーで披露され、お祝いムードが盛り上がりました。

式典では、練馬区教育委員会教育長 堀 和夫 様、練馬区議会副議長 柳沢 よしみ 様、PTA小P連代表の三人の方々よりご祝辞をいただきました。母体校の石神井西小学校の児童数増加に伴い、子供たちの身近な場所に学校を設置してほしいという地域の強い思いから立野小学校がつけられたこと、本校の教育目標「あたたかい心をもつ、すすんで学ぶ、つよい体をつくる」という教育目標の実現に向け児童の指導に取り組んでいること、主体的に学び楽しく学校に通う環境作りが重要なこと、などのお話をいただきました。記念品として、令和3年度から令和4年度にかけて300冊を超える児童用図書と図書館備品を、その他、児童には記念誌と記念ファイルと、60周年マスコットキャラクター「ろっきゅん」の缶バッジを頂きました。

式典では、5・6年生が合奏を披露しました。昔、立野小学校の周辺では鷹狩りが行われていました。徳川三代将軍家光もこの地を訪れていたそうです。その家光の生母が淀殿の妹、お江です。そのお江が主人公となった NHK の大河ドラマのテーマ曲「江」を演奏しました。壮大な音の重なりが体育館を包み込み、感動の渦に巻き込まれました。演奏後の児童はほっとした、そして、満足げな表情で式典を終えました。午後はアートフェスタにたくさんの保護者の方々のご来校くださり、児童の作品を鑑賞していただきました。

開校60周年の節目を迎え、「学校は地域と共に、子供のためにある」という本校の経営理念のもと、気持ちを新たに、職員一同手を携えて子供たちの笑顔のために力を尽くしてまいります。今後とも立野小学校をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 開校60周年記念作品展「アートフェスタ」

図工専科 進藤 洋子

11月12日・14日に開催された「アートフェスタ」開校60周年記念作品展では、たくさんの方にお越しいただきありがとうございました。制限のある中でしたが、ご理解・ご協力をいただき、感謝いたします。来校された皆様から、立野小の子ども達や教職員の励みとなるお言葉を多数いただきました。

子ども達も、「〇年生になったら、こんな作品が作れるんだ。」「学校中が美術館みたいだね。」など展示された作品を楽しみながら見ている姿が見られ、校内が素敵な言葉で溢れていました。

日々の図工の時間でも、「ここには何色を塗ったらイメージと合うかな?」「いいこと考えた!」と、自分の思いをどうしたら表現できるか考えながら取り組んでいる子ども達があります。私は、その姿に、子ども達が自分自身を成長させることができる種があると考えています。これからも教職員が、保護者・地域とともに力を合わせて、子ども達が自分だけの素敵な花を咲かせることができるよう、尽力していきます。